

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 47' 24"		
				経度	137° 26' 18"		
大ヒゼ沢橋 (フリガナ)オオヒゼサワハシ		村道第24号線	長野県木曾郡王滝村				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
長野県 王滝村	2017.11.14	大ヒゼ沢	無	一般道	その他	無し	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				株式会社 長野技研		点検責任者		吉原 潤一		
点検時に記録				措置後に記録						
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類		措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	I								
	横桁	I								
	床版	II	床版ひびわれ	写真11 床版 02						
下部構造		III	洗掘	写真16 下部工 01						
支承部		II	ピンチプレート緩み	写真21 支承 0102						
その他		III	防護柵:欠損	写真30 防護柵・高欄 01						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	下部工に洗掘、防護柵が欠損している。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	早期に措置を講ずべき状態。			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 終点側  起点側 </div>
1973年	28m	4.0m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	下部構造【判定区分: Ⅱ】
<p>写真 11</p>  <p>床版02 床版ひびわれ・遊離石灰</p>	<p>写真 14</p>  <p>下部工 02 ひびわれ・遊離石灰</p>
下部構造【判定区分: Ⅲ】	支承部【判定区分: Ⅱ】
<p>写真 16</p>  <p>下部工01 洗堀</p>	<p>写真 21</p>  <p>支承0102 ピンチプレート緩み</p>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">その他(舗装)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真 25</p>  <p style="text-align: center;">舗装01 路面の凹凸</p>	<p style="text-align: center;">その他(防護柵・高欄)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>写真 30</p>  <p style="text-align: center;">防護柵・高欄01 欠損</p>
<p style="text-align: center;">その他(排水装置)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真 34</p>  <p style="text-align: center;">排水装置0101 土砂詰り</p>	<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p>